愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	大勝 志津穂	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習では、SDGsが掲げる目標に対してスポーツや身体運動ができることを考え、提案することを目指す。多くの報告書やレポートに触れることにより、まとめ方や書き方を習得し、わかりやすい文章を書けるようになることを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面授業においてグループによる発表やディスカッションを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 個別面談	この授業の進め方の確認 学生同士のコミュニケーションづくり 前期の成績をもとに個別面談を行い、後期の目標を確認する。	□
第2回	個別面談	前期の成績をもとに個別面談を行い、後期の目標を確認する。	□
第3回	SDGsについて	SDGsについてまとめ発表を行う	□
第4回	ワークショップ①：SDGsを理解する	SDGsについてボードゲームを用いて理解を深める	□
第5回	ワークショップ②：SDGsを理解する	SDGsについてボードゲームを用いて理解を深める	□
第6回	SDGsの目標について①	グループワークによってSDGsで掲げられている目標を理解する。	□
第7回	SDGsの目標について②	グループワークによってSDGsで掲げられている目標を理解する。	□
第8回	SDGsとスポーツ①	SDGsの目標を達成するためにスポーツや身体運動ができることを考える。	□
第9回	SDGsとスポーツ②	SDGsの目標を達成するためにスポーツや身体運動ができることを考える。	□
第10回	SDGsとスポーツ③	SDGsの目標を達成するためにスポーツや身体運動ができることを考える。	□
第11回	SDGsとスポーツ④	目標達成に向けてスポーツや身体運動ができることを提案するためのアジェンダを作成する。	□
第12回	SDGsとスポーツ⑤	目標達成に向けてスポーツや身体運動ができることを提案するための内容の構成を考える。	□
第13回	SDGsとスポーツ⑥	目標達成に向けてスポーツや身体運動ができることを提案するためのプレゼン資料を作成する。	□
第14回	SDGsとスポーツ⑦	目標達成に向けてスポーツや身体運動ができることを提案するレポートを作成する。	□
第15回	発表	SDGsとスポーツに関する発表を行う。 レポートの提出。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前・事後に参考図書を読み見識を深める（毎週2時間程度） 新聞やTV、インターネットの情報に関心をもち、何がニュースの本質なのかを考えること（毎週1時間程度） 発表資料の作成（毎週２時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎時間のディスカッション、発表資料を全員で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	SDGsに関連する社会や文化、自然に関連する幅広い知識を習得し、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力や自ら調べた専門知識、さらに経験を基に創造的に考え、問題を的確に判断することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	グループワークやディスカッションを通じて自己の立場を理解し、主体的に他者と協同して問題に取り組むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常評価：グループワークへの取り組み姿勢、レポート及びプレゼン資料の完成度

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	論文・レポートの基本　石黒圭　日本実業出版社	978-4-534-04927-8
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		